

循環型社会の実現

廃棄物の排出量削減

省資源・3Rの推進

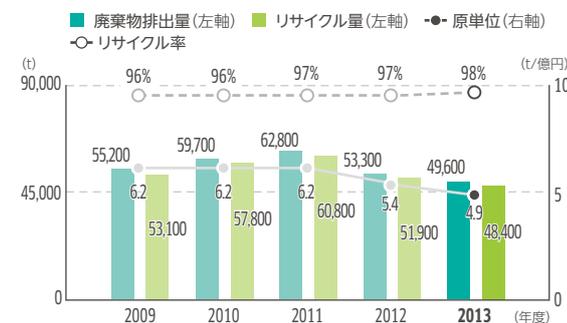
資源を無駄なく利用する製品とものづくりで有限な資源を大切に活かし切り、循環させるなどし、資源を有効に利用する設計を推進し、製品の軽量化や耐久性・リサイクル性などの向上を推進しています。また、生産活動での3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)を推進し、全工場でのゼロエミッションの必達を推進しています。

ゼロエミッション活動・リサイクル率の向上

ゼロエミッションの定義を最終処分率1%以下と定義し、2013年度は当社主要工場において、ゼロエミッションを達成するとともにリサイクル率も98%と1ポイント上昇しました。

2013年度の総排出量は、4.96万トンと前年比約7%削減され、全社目標の売上高原単位において、前年より0.52ポイント改善され、全社目標を達成しました。

廃棄物排出量・原単位とリサイクル率



※原単位は廃棄物排出量を売上高で除した値です。

PCB廃棄物の適正処理

当社が保有しているPCB廃棄物は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理に関する特別措置法」に従い、所轄都道府県に毎年6月末日までに届け出るとともに「廃棄物の処理、および清掃に関する法律」および政省令に基づき、当該事業所に特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し、保管基準に従い厳重に保管管理しています。

高濃度PCB廃棄物

高濃度PCB廃棄物については、2011年度から日本環境安全事業(株)により実施され、これまで約1,100台のコンデンサを処理しました。引き続き、適正処理を推進していきます。

低濃度PCB廃棄物

低濃度PCB廃棄物についても処理費用を算出するとともに費用を確保し、処理事業者の低濃度PCB廃棄物処理認定状況や処理動向を見ながら、認定事業者で処理が適正に行われていることを現地で確認した上で、一部処理を開始し、これまで約180台のトランスを処理しました。引き続き、適正処理を推進していきます。

電子マニフェストの導入

当社は、(公財)日本産業廃棄物処理振興センターが運営する電子マニフェストシステムに連携した環境情報管理システム(ECOKEEP)を利用して、収集運搬事業者、処分業者に委託した産業廃棄物の処理の流れを自ら把握し、適切な処分を確認しています。2012年度から全社的な利用を開始しましたが、2013年度はすべての工場を導入を完了しました。

環境情報管理システム(ECOKEEP)

